

凸版印刷、女子ラグビーの普及と価値向上を目指し  
「WOMEN'S RUGBY COMMUNITY™」を開始  
女子ラグビーの選手が参加し、サイト運営やイベント活動を実施

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、女子ラグビーの普及啓発や社会的価値向上を目指し、女子ラグビー選手やその関係者が運営に参加するコミュニティ活動として、WOMEN'S RUGBY COMMUNITY™(ウィメンズラグビーコミュニティ)を2022年6月2日に発足します。



WOMEN'S  
RUGBY  
COMMUNITY™

WOMEN'S RUGBY COMMUNITY™

© TOPPAN INC.

## ■ 発足の背景

現在女子ラグビーは、世界の競技人口が約270万人(※1)に達し、国内における競技登録者数も増加傾向にあります。しかし、男子の競技に比べ、国内における認知度はまだ低く、選手一人ひとりの活動では大きなうねりにすることが難しい状況です。凸版印刷は、スポーツ振興・文化活動を通じた社会的価値の創造を目指し、国際レベルでスポーツに取り組む社員の支援と、スポーツ振興を図る目的で「スポーツ専従社員制度」を2014年より導入しており、これまでに4人の女子ラグビー選手を雇用してきました。また、2021年6月には、ラグビー日本代表および女子日本代表のオフィシャルサポーター契約を締結。公益財団法人日本ラグビーフットボール協会(所在地:東京都港区、会長:森 重隆)と連携し、ラグビー日本代表の強化とラグビーの普及拡大に向けたサポートを行っています。凸版印刷は、女子ラグビーの社会的価値向上にあたり、女子ラグビーに関わるステークホルダーが連携し、新たな価値創造を継続的に行っていく必要があると考えました。

女子ラグビー選手が主体的に関わり、さまざまなステークホルダーと共創しながら、女子ラグビーの社会的価値向上のための持続可能な活動ができる、「WOMEN'S RUGBY COMMUNITY™」を発足しました。

## ■ 「WOMEN'S RUGBY COMMUNITY」の活動内容

### ・情報発信

WEB サイトや SNS アカウントを 2022 年 6 月 2 日に開設します。女子ラグビー選手のインタビューやコラムなどファンに向けた情報発信をするほか、動画配信などを活用して、選手が参加するトークイベントなどを実施し、双方向のコミュニケーションで女子ラグビー振興に向けたアクションに繋がります。

### ・普及活動

選手が企画・運営に参加する初心者向けのラグビー教室や、ラグビースキルやチームワーク、メンタル面でのレクチャーを行うラグビークリニックを開催。さらにそれらの全国キャラバンを実施するなど、グラウンドを起点にしたイベントを行うことで、女子ラグビーの普及活動に貢献します。

## ■ 「WOMEN'S RUGBY COMMUNITY」に参加するコアメンバー

### ・鈴木 彩香 (ARUKAS QUEEN KUMAGAYA WOMEN'S SEVENS RUGBY FOOTBALL CLUB 所属)



リオ 2016 オリンピック、女子ラグビーW 杯 2017 出場、プロ選手。2020 年渡英、現地でプレーしイングランドの風通しが良く選手主体のチームカルチャーを体感し感銘を受ける。改めて日本の女子ラグビー、スポーツ界に目を向け自分にももっとできることがあるとコミュニティを構想。

### 【コメント】

「コロナ禍でスポーツ界においても常識を覆すような変化を受け入れなくてはいけなくなりました。そんな中で、女子ラグビーが今後どのように発展していくのかを考える様になり、それをきっかけにコミュニティの立ち上げに至りました。日本の女子ラグビーの原点には、ひたむきな力強さがあります。男性社会であったラグビー界において、以前は女性が競技をするのは大変な勇気が必要でした。ラグビーを通して自分らしく彩りある人生を歩んでいく。女子ラグビーがそんな世界になりますように皆さんと一緒に活動していきたいと思います。」

・福島 わさな(凸版印刷株式会社所属)



元 15 人制代表、SNS を中心にさまざまな角度から普及活動に注力。2021 年 10 月、引退を表明。ラグビーとの関り方が変化中、多くの選手の声や活動を知るにつれ同じ想いをを持った仲間・関係者のためのプラットフォームやカルチャーを発信するコミュニティが必要だと思ふに至った。

**【コメント】**

「現役時代から普及活動に携わる中で、選手側が受け身になってしまっていることや継続性がないことに課題を感じていました。選手達が企画段階から主体的に携わり、継続的な活動を行うことで、日本の女子ラグビー界の地力を育てていくことに繋がるのではないかと考えるようになりました。また、多くの選手が経験や悩みを共有し、みんなで考えて解決できる場を作りたいという想いもあります。年齢も競技力も関係なく多くの選手達が携わる場所にしていきたいと思っています。みんなで女子ラグビーを盛り上げましょう！」

・小出 深冬 (ARUKAS QUEEN KUMAGAYA WOMEN'S SEVENS RUGBY FOOTBALL CLUB / 三井住友海上火災保険株式会社所属)



セブンズ代表候補、若手世代を引っ張る中心的な存在。平日は所属企業の三井住友海上にて営業の業務に従事しながら選手活動を行う。年間を通して代表チームでプレーする中、チームカルチャーや普及活動の必要性を感じ、コミュニティ構築に賛同。

**【コメント】**

「18 歳の時に「サクラセブンズ」のメンバーとなり、それからリオ五輪や東京五輪などさまざまな経験をしてきました。代表選手としてプレーしていく中で、自分の経験を自分の言葉・行動で伝え、女子ラグビーの発展に貢献していきたいと思うようになりました。私は現在、三井住友海上で、社業と競技の両立を目指して活動しています。コミュニティを通じてアスリートの存在意義や女子ラグビーの魅力、キャリアなどについてみんなで考え、日本の女子ラグビーのカルチャーを構築していきたいです。」

## ■ 凸版印刷株式会社 専務執行役員 齊藤 昌典 コメント

女子ラグビー選手が運営するコミュニティ「WOMEN'S RUGBY COMMUNITY™」を発足させることで、女子ラグビーの普及啓発を推進し、女子ラグビーないしはスポーツを盛り上げていくことを目指します。

凸版印刷は 1900 年の創業以来培ってきた「印刷テクノロジー」をもとにした技術・ノウハウに加え、DX を基軸としたトータルソリューションの知見を最大限に活用し、社会的課題を解決するための情報発信やサービスを提供してきました。現在弊社には 4 名の女子ラグビー選手がスポーツ専従社員として在籍しております。「WOMEN'S RUGBY COMMUNITY™」を通して、さらに日本ラグビーの発展をサポートするとともに、スポーツ振興、女性スポーツの社会的価値向上に貢献していきます。

## ■ 今後の目標

女子ラグビー選手が運営するコミュニティ「WOMEN'S RUGBY COMMUNITY™」は、活動を通してスポーツ・アスリートのセカンドキャリアや D&I、LGBTQ など、社会課題解決への挑戦を行います。

凸版印刷は、女子ラグビー選手、関係者、クラブチーム、スポンサー企業などのステークホルダーを巻き込み、女性スポーツの社会的価値向上に貢献します。

コミュニティサイト URL: <https://wrugby-com.jp/>

※1 約 270 万人

ラグビーユニオンの国際競技連盟であるワールドラグビーは、2019 年 5 月世界中でラグビーに参加した女子は約 270 万人レベルに伸び、史上最高を記録と発表。2017 年以降の女子選手の登録者数は 28% 上昇。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上